

第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会（香川大会）の報告

平成28年7月15日（金）香川県高松市において第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会が開催されました。

本県からは、保護者、先生方含めて総勢190名が参加されました。

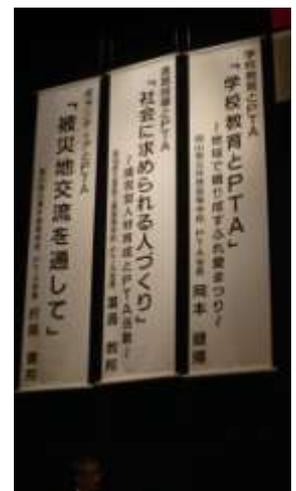
さて、第58回中国・四国地区高等学校大会香川大会は1,900名を超える参加のもと『「発信！PTAとふるさとのソコジカラ」～空と海オリーブのくじから～』をテーマに開催されました。



式典は、香川大会実行委員会 泉 満委員長の歓迎の言葉で始まり、記念講演では、演出家 宮本亜門氏による『違うから面白い、違わないから素晴らしい』という演題で、先生の生い立ちから多くの苦難を乗り越えて、現在がある。それには自分自身ではどうすることもできなかったことが、周りの人たちの協力や支援があって乗り越えることができた。夢は見るものではなく叶えるものだ。そのためには本人の努力は勿論であるが、失敗を恐れ一歩を踏み出せない人も多い。そんな時、背中を押してくれる人に出会えることが素晴らしい。私はこの講演から生徒と先生の関係を感じ、すごく熱いものが感じ取ることができました。



次に昼食をはさみ、研究協議では、岡山県、高知県、香川県からそれぞれのテーマに沿って各学校のPTAが取り組んでいる実践発表をしていただき、発表後の質疑応答も積極的な意見交換が行われました。本県からは、高知工業高等学校PTA瀧渦教邦会長が「社会に求められる人づくり ～探求型人材育成とPTA活動～」と題して発表いただきました。3年にわたる学校とPTAの研究で大変深みを感じる発表であったと思います。全国大会でもご発表いただきますがよろしくお願いいたします。



最後に、3校から高校生によるアトラクションが開催され、何事にも互いの信頼関係の上での取り組む姿勢の素晴らしさから感動が生まれることをこの発表された高校生たちから学ぶことができました。改めて高校生の力を感じることができ、会場全体がひとつになりました。

閉会行事では、平成29年度次期開催県 山口県高P連 板谷会長より次年度の大会の取り組みやテーマの発表を行い、香川大会が終了しました。

来年の山口大会へ本年度以上の参加者が集まることを祈念して報告とします。



高校生の
アトラクション

